100億宣言

株式会社PECO（獣医業）

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ

代表取締役
岡崎　純

世界中の"うちの子"に、永く幸せな暮らしを。

当社は、国内最大級のペット総合メディア「PECO」（月間利用者2,000万人超）と、犬猫専門の動物病院グループ「動物医療センターPeco」を運営しています。日本ではペットの高齢化が進む一方、獣医師の偏在や病院ごとの診療品質のばらつきにより、必要な医療に届かないペットが数多く存在します。私たちは、受付・問診・会計等の業務の90%をAIが担う「スマートクリニックOS」の上で、獣医師・看護師が診療そのものに集中できる次世代の動物病院フォーマットを確立し、全国へ展開することで、予防・早期発見・生涯ケアを身近なものにし、ペットの健康寿命の延伸に貢献します。メディアとリアル医療の融合による成長を通じて、売上高100億円の達成を目指します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

・2031年の売上高100億円達成に向け、AI駆動型一次診療院「スマートクリニック」の多店舗展開を成長ドライバーとし、年率50%程度の売上高成長を目指します。

・2027年2月期に14院体制（既存6院＋新規8院＋動物医療センター）を確立し、以降出店を加速。2031年2月期に売上高105.0億円（スマートクリニック80.1億円・動物医療センター7.5億円・メディア17.4億円）を計画しています。

課題

・獣医師・動物看護師の採用および育成の高度化
・多店舗展開に伴う医療品質・ガバナンスの維持
・出店物件の確保と初期投資資金の調達
・AI・DXの現場定着（省人化オペレーションの磨き込み）
・治療完結から予防・生涯ケアへの飼い主行動の転換
・「誤診0」に向けたヒューマンエラーを起こさない仕組みの構築と実装
・ゲノム解析の本格実装による個別での超高品質な医療体験の提供

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

・AI駆動型一次診療院「スマートクリニック」の標準フォーマット化と多店舗展開（1院あたり3年目に売上1.0億円・営業利益率50%のモデルを検証し、再現性をもって全国へ展開）
・「スマートクリニックOS」による省人化・標準化（予約から受付・会計まで90%AI化、1獣医師・1看護師での院運営）
・月間2,000万人超の自社メディアからの送客と、二次診療（動物医療センター）との連携による一次～高度医療の一貫提供

実施体制

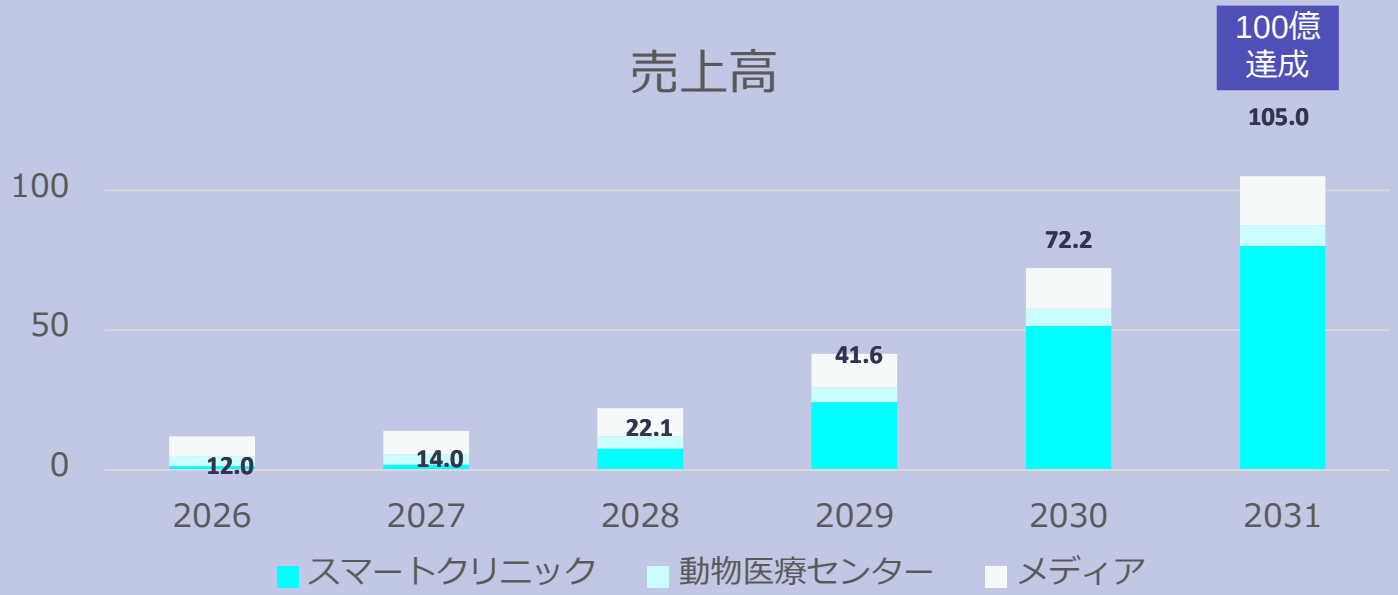
・クリニック開発部（出店・開発）とメディカルオペレーション部門（運営標準化）を設置し、再現性のある出店・運営体制を構築
・院別の売上・診療単価・次回予約率等のKPIを週次レビューでモニタリング
・電子カルテ・データ基盤による診療データの一元管理とAIによる診療支援・ダブルチェック
・金融機関・外部株主と連携した成長投資資金の調達

スマートクリニック（AI駆動型一次診療院）

〇本社所在地：東京都渋谷区
〇事業概要：ペット総合メディア「PECO」の運営、動物病院グループ「動物医療センターPeco」・スマートクリニックの運営
〇常時使用する従業員：82名（2026年7月時点）
〇現在の売上高：12億円（2026年2月期）
〇法人番号：9010701030253
〇Web：https://corp.peco-japan.com/

※本宣言は企業自身がその責任において売上高１００億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

株式会社PECO（獣医業）

売上高100億円実現ビジョンと成長戦略

【成長戦略】当社は、メディア事業で培った飼い主接点（月間利用者2,000万人超）と、動物医療センターPecoで蓄積した診療ノウハウを基盤に、AIを徹底活用した小型一次診療院「スマートクリニック」を標準フォーマット化し、多店舗展開することで不連続な成長を実現します。
受付・問診・会計等の業務の90%をAI化した「スマートクリニックOS」により、1獣医師・1看護師の少人数でも質の高い診療を提供できる省人化オペレーションを確立。1院あたり3年目に売上1.0億円・営業利益率50%のユニットエコノミクスを再現性あるモデルとして磨き上げ、都市部から全国へ出店を拡大し、地域のペット医療インフラの空白を補完します。
あわせて、動物医療センター（二次診療）の専門特化と、メディアによる予防・健康管理の啓発を進め、一次～高度医療・生涯ケアの一貫提供体制を構築。これらにより、2031年（2031年2月期）に売上高105億円（うちスマートクリニック80億円）の達成を目指します。
※下記グラフの各年は2月期決算（例：2031年＝2031年2月期）。2026年は実績、2027年以降は計画値。